

令和元年度 教育・研修委員会活動報告

委員長：大植 孝治 副委員長：盛武 浩

委員：小林 良二、笹月 桃子、嶋田 明、末延 聡一、高橋 義行、多田羅 竜平、永山 淳、
藤 浩、吉田沙蘭、余谷暢之（50音順、敬称略）

報告事項

1. 地区セミナーの件

昨年は7か所で、各10万円の予算で開催したが、今年は開催地を減らし、北海道・中部・中四国・九州の4か所に絞り一か所の予算を増やして開催する方向で調整した。

地区	開催日	場所	参加人数	費用
九州山口	2018.9.9	九州大学	38	139,320
中四国	2019.1.12	広島大学+ネット配信	41 (web 受講4)	79,960
北海道	2019.2.23	札幌医科大学	27	64,480
中部	2019.3.15	名古屋大学+ネット中継	55	42413
計			161	326,173

来年度は東北のセミナーが復活する予定。現在下記2か所が決定している

- 小児血液・がんセミナー in 沖縄 日時：2019年9月22日（日）9：00～12：00
場所：沖縄コンベンションセンター会議棟 B1
- 小児血液・がんセミナー in 中部 日時：2020年1月28日（火）17：30～19：30
場所：金沢大学・名古屋大学+ネット中継

2. 教育セミナーの件

教育セッション（2019年11月14日（木）～16日（土）広島コンベンションホール）

講師	所属	テーマ	座長（担当）	所属
尾崎敏文	岡山大学整外	軟部腫瘍	笹月桃子	西南女学院大学
盛武 浩	宮崎大学小児科	AML	末延聡一	大分大学
佐伯康之	広島大学病院 薬剤部	抗がん剤暴露（倫理）	吉田沙蘭	東北大学
藤崎弘之	大阪市総合	脳腫瘍	藤 浩	成育医療
高木正稔	東京医科歯科大	免疫不全症	盛武 浩	宮崎大学
中田佳代	大阪国際がんセンター	疫学	多田羅竜平	大阪市総合

（敬称略）

3. 社員総会時の教育セミナーの件（6月16日（日） 名古屋大学医学部附属病院）

以下の6人の先生方にご講演をいただいた。

野田卓男（Rare tumor）、菱木知郎（外科治療）、余谷暢之（緩和・支援）、濱 麻人（赤血球疾患・造血）、滝田順子（腫瘍生物学）、手良向聡（生物統計）（敬称略

来年度の社員総会セミナーと学会時のセミナーに関しては、3か年計画の一年目として次回学会時の委員会で検討開始予定。

年度	研修名	固形腫瘍	血液疾患	総論・その他
1年目 (R2)	教育セッション (学術集会時)	神経芽腫 脳腫瘍(髄芽腫)	ALL MDS/JMML	倫理・利益相反 QOL・長期フォロー
	教育セミナー (社員総会時)	腎腫瘍 骨腫瘍	ITP 造血細胞移植	感染対策
2年目 (R3)	教育セッション (学術集会時)	肝腫瘍 脳腫瘍(ATRT)	HLH/LCH 凝固異常症(血友病 or 血友病以外)	輸血 放射線治療
	教育セミナー (社員総会時)	胚細胞腫瘍(CNS除く) 眼腫瘍	悪性リンパ腫 免疫不全症	病理診断
3年目 (R4)	教育セッション (学術集会時)	横紋筋肉腫 脳腫瘍(上衣腫、胚細胞 腫瘍)	AML AA/先天性骨髄不全症	放射線診断 統計・疫学
	教育セミナー (社員総会時)	軟部肉腫(RMS以外) 分子生物学	CML 分子生物学	緩和・社会支援

3. 緩和ケア研修 CLIC について

4年後の2022年度より、CLIC受講歴を、小児血液・がん専門医認定及び資格のための必須要件とすることになった。今後も継続的に開催する必要がある。継続的に開催して行くため、日本緩和ケア学会(JSPM)と交渉し、本年度より、2学会の共催の形としたため、予算の一部をJSPMに負担していただけるようになった。

今年度の開催について

- 第一回目 2019年7月14日（日）～15日（月祝）
国立がんセンター中央病院研究棟セミナールームにて開催 参加者 23名
- 第二回目 2020年2月23日（日）～24日（月祝）
国立がんセンター中央病院
(2020年夏が東京オリンピックで開催困難のため、春を東京にした)

- 2019年度第一回 CLIC 開催に関して、当初 30 名程度申し込みがあったがキャンセルにより 23 名の参加となった。毎回キャンセルが認められ全額返金されることが参加人数低下の一因と思われる。次回から開催 2 週間前以内のキャンセルに対して振込後返金は認めない方針としたい。
 - CLIC の事務委託に関して
 - CLIC に関する事務作業に関して、小児血液・がん学会事務局から、外部に委託してほしいと要望があった。
 - 国立がんセンターから委託実績のある業者（アイズプロダクション）から、仕様書を作成して見積を取ったところ、一回の開催費が約 60 万円とのこと。理事会で承認を得て、年一回の開催も含めて委託を検討することになった。
 - CLIC 受講者を増やす対策として、
 - CLIC の受講が専門医の更新に必須になる年の更新者のうち、未受講の会員のリストを作成し、個別に受講を促すなど本学会員への対策は十分行っている。
 - 今後、本学会員以外の受講者を増やすため、メール配信でのお知らせ、口コミを活用する、関連学会でポスターやチラシで宣伝するなどの方策を行うことになった。
4. **がんの子供を守る会 2019 年度海外留学助成事業について**
- がんの子供を守る会から、留学にかかる費用の助事業（一名 400 万円）について、当学会に当選者選定作業の委託があり、教育研修委員会で選定作業を行うことになった。

以上
文責：大植孝治